

平成28年度 愛甲商工会との意見交換会 実施報告書

1 日 時 平成29年1月17日（火）
午後2時40分から午後5時5分まで

2 場 所 愛甲商工会館2階会議室

3 参加者 愛甲商工会（16人）

4 出席者 議長 小島総一郎 副議長 熊坂 弘久
議員 井上 博明 議員 小倉 英嗣
議員 小林 敬子 議員 馬場 司
議員 山中 正樹 議員 井出 一己
議員 渡辺 基 議員 佐藤 茂
議員 木下眞樹子 議員 佐藤 りえ
議員 熊坂 崇徳 議員 岸上 敦子
議員 阿部 隆之

（以上、15人 ※鈴木 信一議員は所用のため欠席）

5 内 容

（1）議会活動状況報告

- ア 議会の概要について
- イ 各常任委員会活動状況報告について
- ウ 第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会活動状況及び結果報告について
- エ 議会だより編集委員会活動状況報告について

（2）愛甲商工会活動状況等報告

- ア 愛甲商工会の概要について

（3）意見交換

6 記 録

別紙のとおり

平成28年度 愛甲商工会との意見交換会 記録（要点筆記）

（司会：山中議員）

（1）議会活動状況等報告

ア 議会の概要について＜報告者：議長＞

イ 各常任委員会活動状況報告について

＜報告者：佐藤茂議員、小林議員＞

ウ 第5次愛川町総合計画後期基本計画特別委員会活動状況及び
結果報告について

＜報告者：馬場議員＞

エ 議会だより編集委員会活動状況報告について＜報告者：馬場議員＞

（2）愛甲商工会活動状況等報告

ア 愛甲商工会の概要について

（3）意見交換

【主な意見等】

問 第5次愛川町総合計画後期基本計画の目玉は何か。

答 今回の計画のポイントは、人口の想定について前期の中では4万3,000人と予測していましたが、4万500人に下方修正しました。「ひかり、みどり、ゆとり、協働のまち愛川」という将来都市像や、施策大綱等については前期の基本計画を踏襲しています。人口が大きく減少していく中で、少子化対策、そして健康、高齢者の施策などを充実させるといった内容になっています。

問 平成26年度から国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をスタートし、すでに2年が経過している。こういった国からの事業を受けて、今、愛川町議会として若者の転出の問題や子育て支援の問題に対してどういった考えがあるのか。

答 若者の転出の問題は、交通の不便さが一番の要因になっていると考えていますので、交通問題対策に引き続き取り組んでいきたいと思えます。また、愛川町は、

中学校3年生までの医療費の無料化や結婚から子育てまで切れ目のない事業を実施するなど子育て支援施策が充実していますので、こうした施策等を通じて、議会においても住みよいまちづくりを促進していきたいと考えています。

問 県道65号は愛川町のメインの道路だと思うが、歩道がない箇所もあり、整備が非常に遅れている。こういった道路を整備しなければ、人は集まってこないと思うので、人が自然と集まってくるようなまちづくりをお願いしたい。

答 道路の重要性については十分認識をしており、愛川町としても神奈川県に対し要望をしています。県道の交差点の改良や拡張といった事業については、引き続き議会としても取り組んでいきます。また、国や県への要望についても、町と連携して進めていきたいと思えます。

問 今回、教育民生常任委員会で広島県へ視察に行ったという話があったが、視察をしてきたことを愛川町でも実施して効果に結びつけていただきたい。

答 行政視察は、先進地の優れた業績を愛川町でも生かしていくために実施しています。学んできたことは、今後の一般質問や質疑などを通じて効果的に結びつけていきたいと思えます。

問 議会だより編集にあたって、苦勞している点について

答 一番苦勞するのは一般質問の見出しです。その見出しを見れば、中身が全てわかるように、また、紙面の整合性なども意識し、どうすれば読者に一番伝わるのかを考えながら編集をしているので大変苦勞しています。

問 宮ヶ瀬ダムの整備時、立ち退き者に対し、ダムで発電した電気を地元安く提供したり、また、企業を誘致した場合は、その企業に対し電気料金を安くするというような話が出たことがあったが、そういった話はないのか。

答 当時、地元要望があったと伺ってはいますが、議会での活動はしていません。

問 愛川町議会基本条例について、新しく議会議員になられた方が、どのくらいの時間をかけてこの基本条例を理解しているのか。

答 議会基本条例については、専門用語などの難しい部分がありましたが、1年3カ月が経過し、少しずつですが言葉にも慣れてきました。今年度は、条例の検証及び見直しの検討も行っており、所属している会派での議論や、他市町村との比較を行うなど理解を深めています。これからも継続して勉強し、議会活動に生かしていきたいと考えています。

問 いつ今地震が起きてもおかしくない時代であり、町では地震対策をどう考えているのか。

答 地震・風水害に対処する基本的な町の計画は、地域防災計画によって定められています。災害、特に地震については議員もそれぞれ高い関心を持っていますが、さらに思いを深くして、これからの議会活動に邁進していきたいと思えます。

